

# 福島小だより

学校通信

めざす児童像：よく考え 心やさしい 元気な子  
令和3年12月1日 第9号



甘楽町立福島小学校  
校長 中島 剛

## ○寒い冬がやってきます ～健康管理にご留意を～

先週あたりから日中の気温も急に下がり、朝夕の冷え込みとともに、着実に冬の到来を感じる今日この頃です。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

新型コロナの感染拡大もだいぶ収まり、落ち着いた気持ちで12月を迎えられました。これから子どもたちは2学期のまとめを行っていきます。今後は、今まで通り感染対策を取りつつも、少しずつ活動の幅を広げていけたらと考えています。保護者の皆様には、今後とも変わらぬご支援、ご協力をお願いします。

## ○なかよし旬間 ～思いやりあふれる学校を目指します～

先月初めの2週間は、相手の気持ちを考えたり、心の声を聞いたりして、思いやりについて考える「なかよし旬間」でした。

初日の「**なかよし集会**」では、児童会本部役員が、誰もが持っている自分らしく生きる3つの権利（安心・自信・自由）について説明しました。その話を受けて校長から「学校は正義が勝つ所」という話をしました。正義が勝つとは、正しいことを正しいとはっきり言えること、また、ダメなものはダメと胸を張って言えることです。いじめは絶対にダメだということを「なかよし旬間」で、全員で考えてほしいと話しました。

次に、「**なかよし読み聞かせ**」では、朝行事の時間に縦割り班ごとに各教室に集まり、5年生が思いやりや親切についての内容の絵本を他学年の児童に読んで聞かせました。その後、話を聞いた児童は、絵本の感想や友達への思いやりの気持ちなどを発表しました。

そして、「**なかよし話し合い**」では、縦割り班に分かれて、6年生が劇を行いました。掃除中にふざけたり、一緒に遊ぶのを断って仲間外れにしたりする場面などを演じました。次に、下級生がその劇に加わり、こんな時どうするか、自分の考えをセリフで言いました。下級生は、仲間外れはよくないと注意したり、思いやりのある言葉を言ったりしていました。振り返りでは、友だちを大切にしたい、誰とでも仲良くしたいなどの意見をワークシートに書き込んでいました。

なかよし旬間の期間中、上記の活動を通して感じたことをカードに書いて模造紙に貼り出す「**なかよしの花**」を各学級で行いました。友達への感謝の気持ちなど、心温まる言葉を書いていた。

